

知的資産経営報告書 2024



MANDOENGINEERING
マンドーエンジニアリング株式会社

目 次

1. ご挨拶	1
2. 当社の考え方	2
3. 事業概要	5
4. 当社の持ち味	6
5. 将来ビジョン	16
6. 会社概要	19
7. あとがき	20

1. ご挨拶

マンドーエンジニアリング株式会社は、工場向けに電気設備、電気通信、消防施設工事、防犯カメラ設置事業など、多岐にわたるサービスを提供しております。確かな技術力とサービスの品質を追求し、お客様に安心と安全をお届けすることを使命としております。

私たちの強みは、若い従業員が多く活躍していることです。20代・30代の若手スタッフが多く、勢いのある組織です。また、長年、電気工事に携わってきた、ベテラン社員も多く在籍しております。若い力とベテランの力を結集し、アイデアや技術革新に挑戦し続けることで、お客様の多様なニーズに応えることができると確信しております。

従業員に向けて、充実した資格取得支援制度を設けており、電気工事士（第1種・第2種）をはじめ、語学など幅広い資格取得をサポートしています。お客様にとって最大の価値を提供することはもちろん、従業員にとっても成長できる環境を実現しています。その結果、従業員の定着率が高く、同業他社の方々からも「マンドーさんの社員は若い人が多く、本当にいい人ばかりで羨ましい」というお言葉をいただくことが多く、大変誇りに思っております。

現在、日本国内だけでなく、フィリピンへの展開を予定しております。将来的には、世界中の皆様には私たちの技術とサービスをお届けできる企業として発展することを目指しています。

これからも、信頼される企業として成長し続け、お客様の期待に応えてまいります。

マンドーエンジニアリング株式会社
代表取締役 宮田直哉



2. 当社の考え方

■ 経営理念

技術と創造で固定概念を破壊しろ

We destroy a fixed concept
at a technique and creation

経営理念に照らして会社運営上の意思決定を行うことで、当社が選ばれ続け、社員とその家族が幸せになる会社を創り、継続できると考えています。

■ マンドー行動六則

- 一、 挨拶は自ら行え
- 二、 仲間に敬意と感謝の心をもて
- 三、 張りぼてのプライドをもつな
- 四、 利益の為に人を欺くな
- 五、 数字で考えて行動で示せ
- 六、 変化に怯えるな

経営理念を実践するため、当社の社員として、常に旨とするべき行動指針として「マンドー行動六則」を定めています。自らの言動を律することのできる社員が揃ってこそ、物理的な距離を超えて同じ会社の仲間として働くことができます。（次葉に詳細を掲載しています。）

2. 当社の考え方

■ マンドー行動六則

一、挨拶は自ら行え

挨拶を大きな声で行おう。挨拶は全ての仕事の基本である。挨拶を大きな声で出来ない人は自信がないように見える。マンドー社員 は一人一人が会社の顔である。その顔が自信のないように見えることは マンドーが元氣のない会社に映る。

二、仲間に敬意と感謝の心をもて

仲間とはマンドーの社員、協力会社、発注者、仕入先である。この人たちがいないと仕事は出来ない。日常では謙虚に。また、謙虚になり過ぎて卑屈にならないよう、日々感謝の気持ちを忘れずに人に接していこう。

三、張りぼてのプライドをもつな

プライドは大切。大いに持って欲しい。

しかし、仕事ではプライドは邪魔をする。仕事をしている時は己のプライドは捨てて、マンドーの行動規則を基準に考えよう。

2. 当社の考え方

■ マンドー行動六則

四、利益の為に人を欺くな

この利益は会社の利益のことだけでない。己の保身のことでもある。
自分が偉いと思えようと大きな事を言う。そして嘘をつく。
その嘘は己だけでなく、マンドーが嘘をついたことになる。
良い格好をせず、自分を知り、それ以上に自分を偽るのは今日から止めよう。

五、数字で考えて行動で示せ

毎日の仕事でどれだけの費用が発生しているか考えよう。外注の労務費
や資材や作業者のレンタルは費用で考えているが、己が1日働けば自分
の人件費が発生する。数字で考えることは自分の市場価値も高まる。

六、変化に怯えるな

以上、5点を述べてきたが、この精神をマンドー社員として一番大事に
してもらいたい。変わってから、行動しても遅い。
市場に合わせて、マンドーも変わっていく。

3. 事業概要

事業内容とその特徴

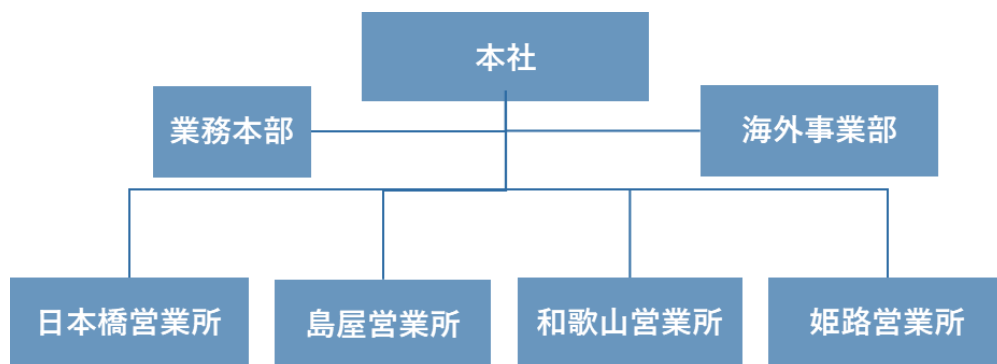
プラント工事に専門特化した電気工事・電気通信工事

当社は、日本製鉄の大規模プラントでの長年にわたる経験と実績に基づき、プラント工事に専門特化しています。

工場電気設備・防爆電気設備・発電設備、地中送配電設備のほか、情報通信網設備（LAN・WAN）、電話データ通信設備などの工事を得意としています。



組織図



有資格者

- ・ 第1種電気工事士
- ・ 第2種電気工事士
- ・ 1級電気工事施工管理技士
- ・ 2級電気工事施工管理技士
- ・ 第3種電気主任技術者
- ・ 消防設備士 甲4類 乙7類
- ・ 日本商工会議所簿記検定2級
- ・ 建設業経理士2級

当社には、電気工事に係る様々な資格を有する社員が多数在籍しています。社員の持つ知識・技術が見える化し成長を実感する手段としても資格取得を奨励しています。社員一人ひとりが次の目標を決めて更なる資格取得を目指しています。

4. 当社の「持ち味」

働く社員の声

Q.あなたが感じる会社や仲間の魅力や良い所は？

社 風

- ・ 社内の風通しがいい。何かあった際にサポートしてもらえる体制がある。
- ・ 若手社員が多いため、これからも勢いがある会社だと思える。
- ・ 誰に対しても何でも相談できる。
- ・ 会社でアンケートを取る等社員の意見を取り入れてくれる。
- ・ 年功序列ではなく、若くても能力があればチャンスがあり昇格できる。
- ・ 若手社員の育成に力を入れている。社員が働きやすい環境づくりを社長が一番に考えている。
- ・ 人が魅力。社長の存在が特に魅力。会社説明会で初めて会った人がファンになるプレゼン力、コミュニケーション力、何より仕事への情熱を感じる。
- ・ 社員それぞれの人柄が良い。
- ・ フットワークが軽く、会社行事にも積極的に参加する。

仕事・研鑽

- ・ 若い社員が多く、頼まれ事に即応できる。
- ・ 日鉄OBの方が在籍しており、分からない事を質問できる。
- ・ 相談し合える仲間がいる。忙しい時は互いに協力し、工事案件を話し合っ
て業務分担を調整できる。
- ・ 自分にはないものを持っている仲間がおり、それを言葉化したり共有できる。
- ・ 依頼案件に対して、誰もが常に手抜きなく真摯に対応している。
- ・ 案件ごとの採算を掴むのが上手く、見積り精度が高い。
- ・ 真面目で成長したい社員ばかりで、やる気・熱意が高い。
- ・ 仕事に際して、真摯に取り組んでいる。今在籍する人は、自分の仕事が好きで真摯に取り組むプロの精神を持っている。一生のうち働く時間は寝る時間の次に長い、その仕事を大切にしている。

本社・事務所を問わず、何でも相談できる心理的安全性が確保されていると感じてもらっているようです。人・仕事と真摯に向き合う先輩の姿が脈々と受け継がれる素地ができつつあると感じています。

4. 当社の「持ち味」

働く社員の声

Q.これ「いいな」と思う会社の取り組みは？

成長性

- ・ 公共工事に進出するなど、旧来の仕事以外にも取り組んでいる。
- ・ タブレット導入、勤怠関係など新しい取り組みが多い。
- ・ 全社での懇親会や食事など社外でのコミュニケーションの場がある。
- ・ 評価制度や知的資産経営の取り組みなど、人間的に成長していくと感じる。
- ・ 評価制度で自分の立ち位置がわかり、自分を引き締めることが出来ている。
- ・ 会社が新しいことに取り組み、チャレンジしている。
- ・ 評価制度で目標・実績が数字で表せるのがいい。
- ・ 現状に満足せず、常に新しい事業・分野に挑戦しようという姿勢、取り組み。

働きやすさ

- ・ 人事評価制度があることで、自分の行動や評価が明確に決まっており、毎期達成することで昇進・昇給ができる。また、えこひいきが起こりにくい。
- ・ 「行動六則」まで作っている。社員が迷った時に行動しやすい。
- ・ 社員のことを考えていると感じる。
- ・ 資格支援制度が充実している。
- ・ タブレット・ラインワークスなどを積極的に取り入れていて事務効率が高い。
- ・ 育休制度（男女とも）が充実し、育休も取りやすい。
- ・ 連絡ツール、勤怠表など新しいシステムを導入し、仕事が効率化している。
- ・ 会社が働きやすい環境づくりを心がけており、社長にも相談しやすい。

常に変化・進化を続けている会社の姿に、成長性を感じてもらえているようです。個人の成長が会社の成長に、会社の利益が個人の利益につながることを理解してもらっているようです。会社として、社員一人ひとりが働きやすい環境を創ることで、社員が本領を発揮できるようにする。その結果、お客様により高い貢献ができると考えています。

4. 当社の「持ち味」

人的資産

日本製鉄の電気設備工事で培った柔軟な発想力と施工対応力

日本製鉄の複数工場に常設事務所を置いています。そこで培った電気設備工事全般にわたる豊富な工事実績と経験は、民間・公共を問わずあらゆるケースに素早く対応できる柔軟な発想力・施工対応力となっています。



従業員一人ひとりの高い技術力とチームワーク



当社が誇るべきは人です。当社従業員の平均年齢は46歳、20歳代の社員も多く在籍しています。

電気工事会社としては若い社員が多く、ベテラン社員や協力会社に学びながら技術を磨いています。

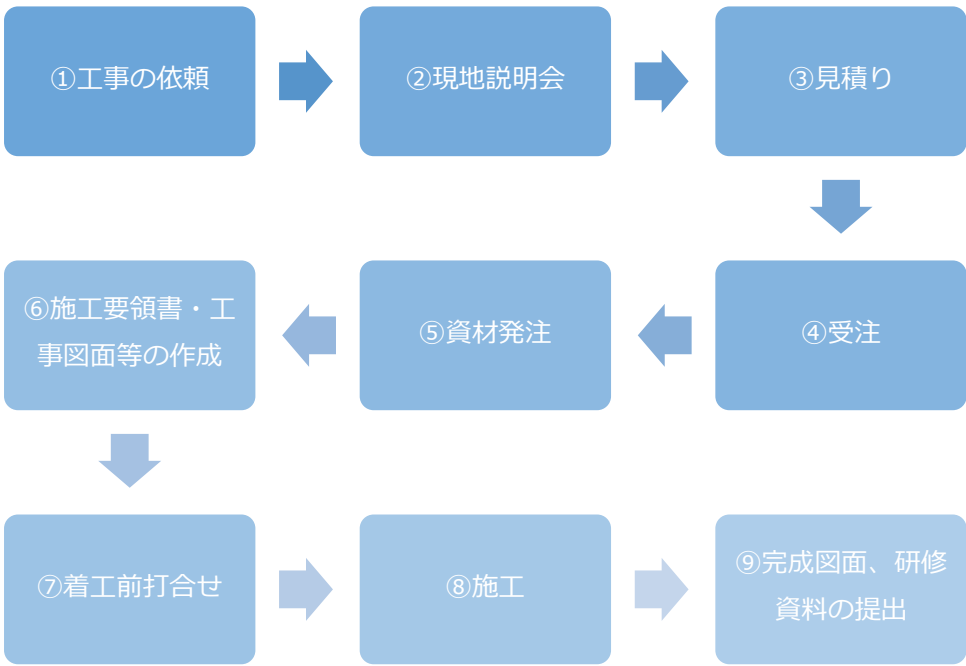
「マンドー行動六則」を旨として、技術はもちろん一人の人間としても常に成長し、互いに良い影響を与えられる存在となるよう努力しています。互いを敬い、感謝することで優れたチームワークを発揮します。

4. 当社の「持ち味」

組織資産

【業務プロセス】

日本製鉄の場内業務のプロセスは大きく以下ようになります。長年の豊富な実績と経験を積み重ねる中で、各プロセスで当社独自の良さを磨いてきました。



【プロセスごとの当社の良さや工夫】

①工事の依頼	②現地説明会	③見積り
●過去の経験から依頼内容を聞けば現場の状況が読み取れる。 ●速やかに日程調整を行う。	●顧客要望に沿った施工方法の提案など最適解を導き提示。 ●有資格者が現説に参加するので顧客も安心。	●要望金額、納期を満たす施工方法に合わせ見積りを作成。 ●当社の目標利益も満たす。

4. 当社の「持ち味」

組織資産

【プロセスごとの当社の良さや工夫】

④受注	⑤資材発注	⑥施工要領書・工事 図面等の作成
● 発注条件と見積りが合っているか確認する。 ● 相違があった場合は相違を解消するよう話す。	● 工事工程を守ることができる発注タイミングを見極められる。 ● 進捗に合わせ発注、在庫を抱えない工夫。	● 過去案件のデータを確認。 ● 協力会社と認識に相違が生じないよう施工図面を作成。 ● ポイントとなる内容を漏れなく記入。
⑦着工前打合せ	⑧施工	⑨完成図面、研修 資料の提出
● （元請の場合）客先要望など細かな点を再確認。 ● （下請の場合）元請が無理な要望を聞いていないか注視し指摘。	● 朝礼で体調を確認、ルール厳守で安全に工事。 ● 適切な施工管理で品質面を確保。 ● イレギュラーな状況に迅速対応。	● 工事図面の変更点の反映など抜けなく作成。 ● 検査がある場合、必要書類を確認。 ● 誰が見ても分かり易い図面を作成。

4. 当社の「持ち味」

組織資産

【社員の成長を後押しする仕組み】

変化・進化に対応できる社員を育成するため、社員の成長を支え、後押しする仕組みを提供しています。

資格取得支援

資格取得や登録に必要な費用を全て会社負担で支援しています。資格取得者には、資格に応じた資格給が毎月支給されます。



上司面談（月1回）

営業所毎に、毎月1回、営業成績や個人目標の進捗状況、その他にも困りごとがないかなどを上長が一人ひとりと対話する場を設けています。



MANDO CHALLENGE (マンチャレ)

自分がしたいと思う好奇心と達成したいという欲望を叶える制度です。社員には失敗を恐れず、まずやってみることを奨励しており、当社社員の自主性、積極性を高めることに寄与します。（海賊の欲望と冒険者の好奇心を胸に）

4. 当社の「持ち味」

組織資産

【働きやすい職場づくり】

社員が働きやすい職場を提供することが会社の役割の一つであると考え、福利厚生を含めた様々な取り組みを実施しています。

ハイパーメディカル保険

万が一の病気入院などに備えて、AIG損害保険のハイパーメディカル保険に加入しています。もしもの時の補償を会社が準備しておくことで、安心して仕事に臨むことができると考えています。



心理カウンセラーとの相談

当社では、社外心理カウンセラーによるメンタルヘルスカウンセリングを受けられる体制を持っています。社員の心のケアを通して、不安なく生活できる環境を提供したいと考えています。



全社での懇親会

各営業所との交流・懇親を図るため、全額会社負担での全社飲み会を年2回開催しています。今後は、年度方針発表会も毎年ホテルで開催する予定です。



4. 当社の「持ち味」

組織資産

【社内の情報共有の仕組み】

当社の特長は変化の速さです。離れた事務所で働く社員が変化に取り残されないようにするためにも情報共有が大切です。特定の日に限らず日常的な情報共有を意識しています。

MANDO TIME (雑談)



当社では日常の雑談を大切にしています。現場に関する問題は、日時の決まった会議を待たず、経験豊富な仲間とその場で解決するスピード感があります。事務所内のコミュニケーション量が増え心理的安全性も醸成されます。

最新情報の入手



各営業所には最新のカatalogなどが揃い、いつでも手に取って最新情報を仕入れることができます。各営業所で必要な書籍は自由に購入できるようになっています。

全体会議



年2回、ZOOM形式で全体会議を開催し、会社の現状や取り組みを全社共有しています。離れた拠点で仕事していても「関係ないことは何もない」と考えています。

LINE WORKS

社内連絡ツールとして「LINE WORKS」を全社員が日常的に用いています。オンタイムの情報共有が、情報面の風通しをよくしています。

4. 当社の「持ち味」

関係資産

【当社と一緒に価値創造してくれる存在】

労働力や場の提供などを通して協力いただける外部協力者の存在があってこそ、当社の事業は継続できています。今後も、こうした方に対する感謝の念を常に持って事業を行っていきます。

構内の協力会社



長年の付き合いがある構内協力会社とは、無理をきいてもらえる関係性を築いています。

ポリテクセンター



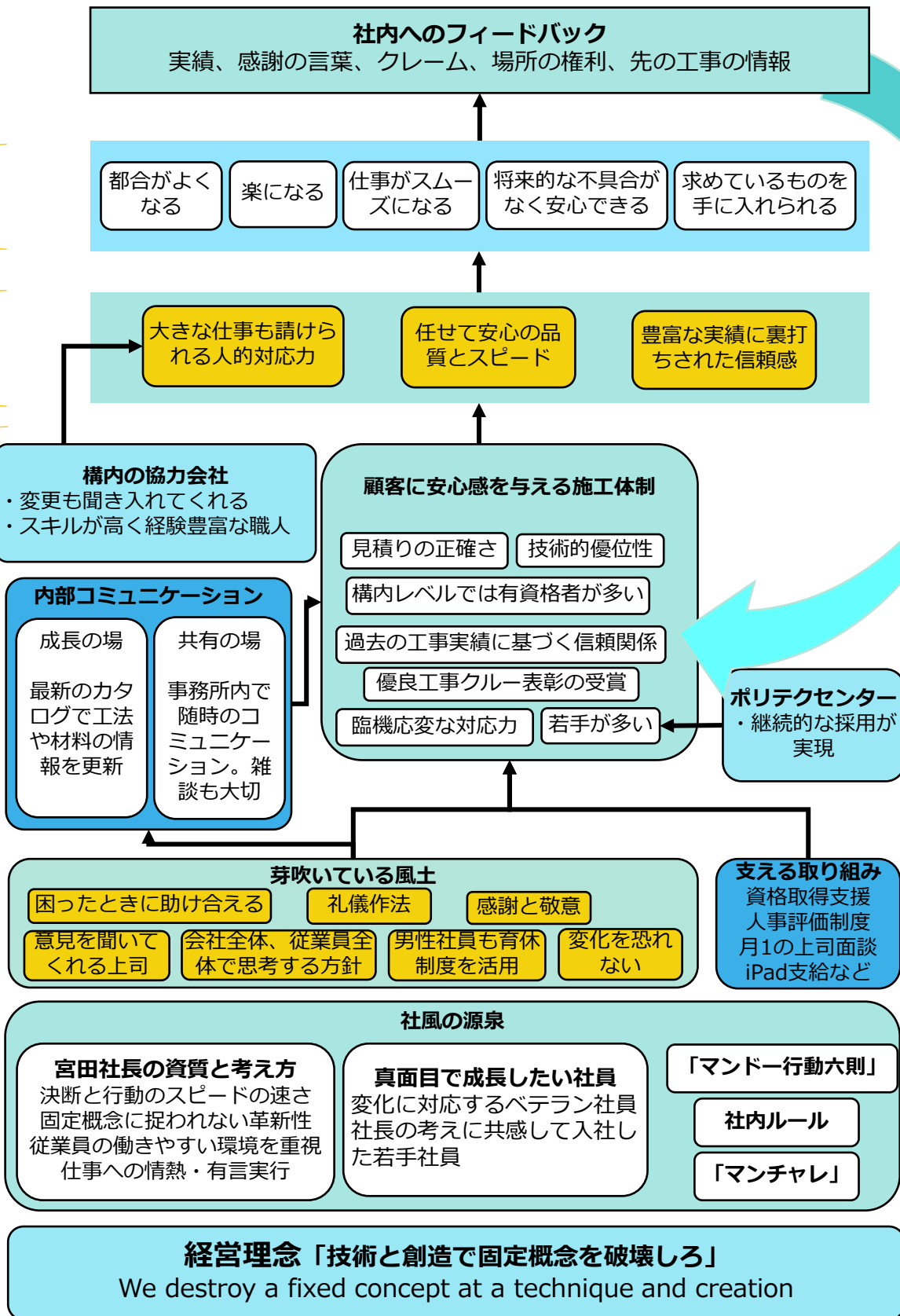
定期的に会社説明会を開催しています。当社の特色あるプレゼンが将来有望な人財の継続的な採用に繋がっています。

4. 当社の「持ち味」 《現在価値ストーリー》

顧客利便価値

重要成功要因

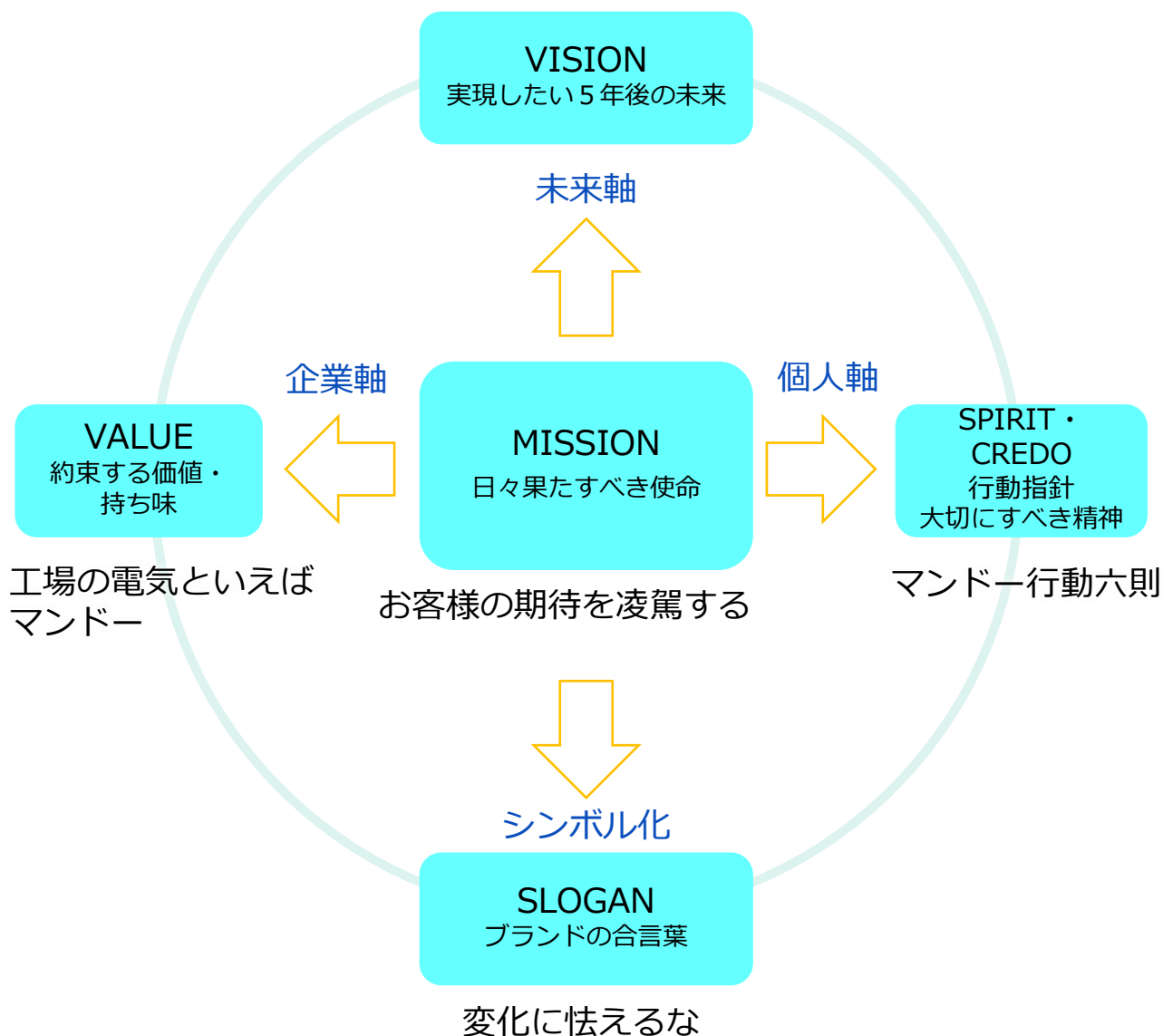
知的資産



5. 将来ビジョン

ミッションマップ

アジアに3拠点を置く



5. 将来ビジョン

【アクションプラン】

目的	担当	実施内容	KPI	期限
従業員一人ひとりのスキル・経験の向上	小椋	人事評価制度の最適化	—	2025年3月末
	小椋	識学の考え方の浸透	全員の平均数値65%以上	2025年6月末
	小椋 吉田	資格取得者の増加 ・ 1級電気施工管理技士 ・ 第1種電気工事士 ・ 日商簿記2級	施工管理 ： 4人 電気工事士 ： 4人 簿記： 2名	2026年6月末
	中山 松下	社内の技術教育の実施	既存社員全員一通り教育済	2025年12月末
新規採用の拡充	小椋	ポリテクセンターでの説明会	説明会開催 ： 2回 1名採用	2025年6月末
組織体制の拡充	社長 松下	営業専任部署を立ち上げ、現場経験者を異動させて、専任に充て、社内教育を施す	専任1名	2026年6月末
	篠原 中山	設計専任部署を立ち上げ、現場経験者を異動させて、専任に充て、社内教育を施す	専任1名	2026年6月末
	松下	姫路営業所を立ち上げ、広畑地区の新規営業拡大	売上高 1千万円	2025年6月末

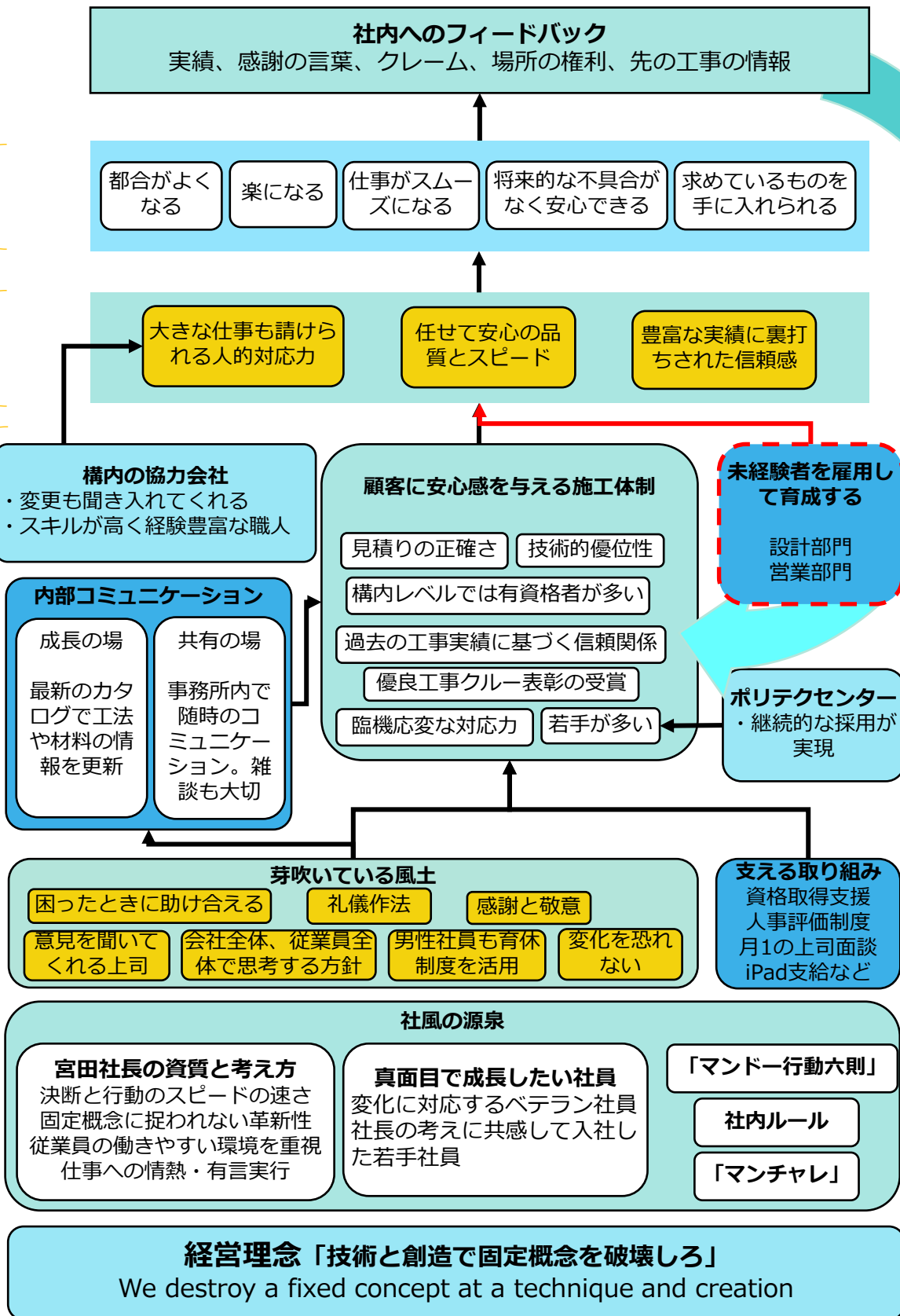
5. 将来ビジョン

《将来価値ストーリー》

顧客利便価値

重要成功要因

知的資産



6. 会社概要

商 号	マンドーエンジニアリング株式会社
所 在 地	〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-14-20 NLC新大阪ビジネスゾーンⅢ番館701 TEL : 06-6195-2801 (代) / FAX : 06-6195-2808
代 表 者	代表取締役 宮田 直哉
設 立	2020年7月
資 本 金	20,000,000円
登 録 ・ 許 可	国土交通大臣 許可 (特-4) 第28431号 許可年月日 令和4年12月13日 建設業の種類 電気工事業 国土交通大臣 許可 (般-3) 第28431号 許可年月日 令和4年2月17日 建設業の種類 電気通信工事業・消防施設工事業 中部近畿産業保安監督部近畿支部長届出第2022002号 届出日 令和4年3月11日
主 要 取 引 銀 行	紀陽銀行八尾南支店 京都銀行新大阪支店
関 連 会 社	株式会社テレビサポート

7. あとがき

(1) 知的資産経営とは

知的資産経営とは、従来バランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

(2) 注意事項

本知的資産経営報告書に掲載しました内容は、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。

そのため、将来にわたり当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によってこれらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施または実現する内容と異なる可能性もあります。

よって、本報告書に記載した内容等を、当社が将来にわたって保証するものではないことを十分にご了承ください。

(3) 作成者

マンドーエンジニアリング株式会社 知的資産経営報告書作成プロジェクトチーム

(4) 作成支援者による確認

本報告書に掲載されている内容は、作成支援者である本職が専門家としての知見と客観性をもって妥当と認めたものであることを確認しています。

作成支援者：中小企業診断士 橋本 祐樹

(5) 発行

2024年12月



MANDOENGINEERING
マンドーエンジニアリング株式会社